

< 概要版 > 大阪都市魅力創造戦略2030（案）

大阪府・大阪市

<概要版> 大阪都市魅力創造戦略2030

めざす姿

国際エンターテインメント都市OSAKA

～ 府民・市民が愛着を持つ、持続可能な魅力あふれる都市へ～

大阪が持つ、食や歴史、文化、芸術、スポーツ等を含む都市魅力のすべてが、「多くの人を魅了するエンターテインメント」であり、人と人をつなぎ、人々の心を豊かにするものである。その魅力に加え、関西・西日本のハブ都市である強みや、万博開催によるレガシーを最大限に活用し、住民や企業をはじめ、あらゆるステークホルダーとともに、国内外からの誘客、交流拡大につなげることで、府民・市民の誇りや愛着につながる新たな魅力が創造され、さらに人々を「ワクワク」させ、人々を惹きつける好循環が生まれる、持続可能な「国際エンターテインメント都市」をめざす。

【「大阪都市魅力創造戦略2025」の成果】

◎都市プレゼンスの向上

大阪の豊かな都市魅力を生かした賑わいの創出・発信に加え、2025年大阪・関西万博を契機に、様々な国際イベントが開催されたことにより、都市格が向上。

◎多様なネットワークの構築

あらゆるステークホルダーとともに、都市のポテンシャルを生かしチャレンジを続けたことにより、多彩な都市の魅力を生み出すためのノウハウの蓄積やネットワークの構築が図られた。

◎来阪者数等の増加

各種観光データは、インバウンド需要が好調であったコロナ禍前を上回る又は同程度の水準で増加しており、来阪外国人旅行者数と日本人延べ宿泊者数は、過去最高値を達成した。

◆今後の取組で求められること◆

- ✓ 大阪・関西万博による成果をレガシーとして継承・発展
- ✓ 世界的に関心が高まる「持続可能な観光」への対応
- ✓ 府域の豊かな個性のさらなる磨き上げ

【「大阪都市魅力創造戦略2030」の策定】

◆2つの視点◆

▶大阪ならではの都市魅力ブランドの確立

多彩な魅力の創出と大阪の強みである豊かな個性のさらなる磨き上げにより、都市としての価値やポテンシャルを最大化、国内外からの誘客・交流拡大につなげる。

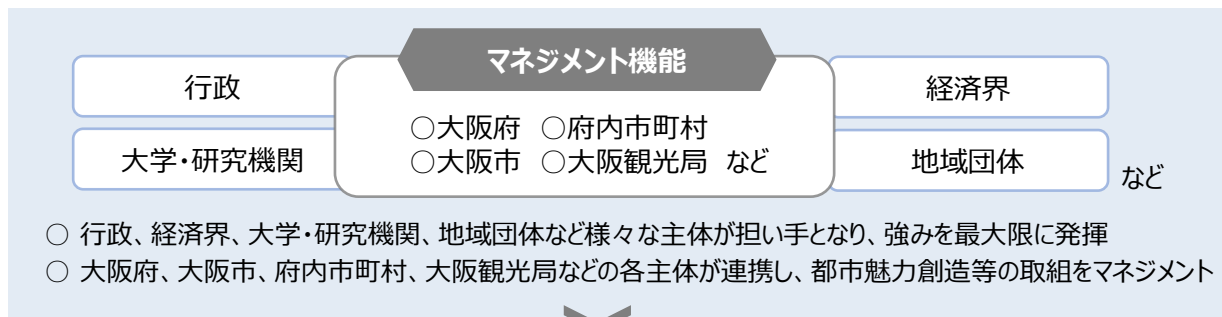
▶持続可能な観光の実現

国際都市にふさわしい「おもてなし力」や受入環境の充実により「持続可能な観光」を実現し、将来にわたって魅力が形成される都市へと成長を図る。

◆計画期間◆ 2026（令和8）～2030（令和12）年度

- 今後、大阪では国際的な大規模イベントの開催や受入環境の充実に向けたハード整備が予定されているほか、2030年には、国際会議場や展示場、エンターテインメント施設等が一体的に組み込まれた統合型リゾート（IR）の開業が控えている。
- 大阪・関西万博によって高まった世界からの注目度や都市の勢いを「万博レガシー」としてつなげ、訪れる人々が楽しくなるよう、日本を代表する国際観光拠点の実現に向けて果敢にチャレンジを続けていく。

◆取組の推進にあたって◆



大阪全体の活性化

◆テーマ別の取組◆

- 「国際エンターテインメント都市OSAKA」をめざし、「大阪ならではの都市魅力ブランドの確立」と「持続可能な観光の実現」という2つの視点に基づき、6つのテーマを設定し、ベクトルをあわせて施策の実施に取り組む。

1 誰もが訪れたい世界第一級の観光都市

食や歴史、文化・芸術、スポーツなどの大阪の強みに更なる磨きをかけるとともに、大阪が持つ資源の価値やポテンシャルの最大化等に取り組み、世界に通じる魅力あふれる都市をめざす。

2 文化力を活用した世界に誇れる魅力あふれる都市

大阪の持つ文化力の活用により都市魅力が向上し、世界中から人々が集い交流することで新たなつながりや創造が促進され、自由で多彩な文化芸術活動がより活性化し、世界に誇れる都市をめざす。

3 スポーツによる活力あふれる都市

世界的なトップアスリートのパフォーマンスを「みる」機会やスポーツを「する」機会の提供、大阪の地域資源を生かしたスポーツツーリズム等により、活力あふれる都市をめざす。

4 アジア・オセアニアでトップクラスのMICE都市

大阪・関西万博開催都市としての実績や統合型リゾート（IR）のインパクトを生かし、オール大阪での戦略的な取組により、世界水準のMICE都市をめざす。

5 国際交流を通じて持続的に成長する都市

大阪の海外ネットワークを活用した多様な国際交流や将来の大阪に貢献できるグローバル人材の育成・活躍の推進により、新しい価値が生まれ、持続的に成長する都市をめざす。

6 さらなる誘客を図る安心して楽しめる快適な都市

大阪を訪れる方々も地域の方々も、誰もが安全・安心・快適に過ごすことができる持続可能な都市をめざす。

◆戦略の進捗管理◆

- 大阪府都市魅力戦略会議において、年度ごとに評価・検証を実施。
- 目標値や来阪者の大阪観光における満足度・推奨度の指標等については、社会情勢の変化や今後実施する観光動向調査等を踏まえ、必要に応じて見直し・更新を行う。

内外からの誘客に関する数値目標

指標		目標値（2030年）	参考（2024年）	出典
来阪者数	日本人	今後設定（※1）	3,232万人	旅行・観光消費動向調査（観光庁）
	外国人	2,300万人	1,409万人	インバウンド消費動向調査（観光庁）
延べ宿泊者数	日本人	3,700万人泊	3,204万人泊	宿泊旅行統計調査（観光庁）
	外国人	3,000万人泊	2,539万人泊	宿泊旅行統計調査（観光庁）
消費単価（1人あたり）	日本人	5.2万円	3.0万円	旅行・観光消費動向調査（観光庁）
	外国人	16.0万円	9.2万円	インバウンド消費動向調査（観光庁）
世界の都市総合ランキング<文化・交流分野>		TOP10入り	13位（※2）	Global Power City Index（(一財)森記念財団 都市戦略研究所）
世界の観光都市ランキング		TOP10入り	11位（※2）	Top 100 City Destinations Index（英市場調査会社ユーロモニターインターナショナル）

（※1）来阪者数（日本人）の目標値は、2025年の来阪者数（日本人）が公表され次第、設定する

（※2）世界の都市総合ランキング、世界の観光都市ランキングは2025年の数値